

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。
なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

- 【タイトル】 共同実施を核とした学校運営参画・業務改善
- 【背景と目標】 2町（中2中5小）での共同実施【各校から共同実施の拠点校までの距離は、車でおおむね20分圏内、月6回半日開催です】を活用し、情報交換等を通し各校の学校運営参画・業務改善などにつなげる。
- 【協働・取組】 各校のICT機器活用の状況を交流、学校の環境整備について各事務職員の得意分野を活かした実践の交流と、兼務発令を活かした他校の支援、教職員の負担軽減に向けたソフトの作成や既存の書式の整備などを行う、予算要求に時期には予算要望書を持ち寄り情報交換、日常の財務の点検業務では他校の執行状況の把握と購入物について交流、保護者負担軽減に関する情報共有（小学校間、中学校間での学校徴収金での購入物の比較など）
- 【成果と課題】 教職員に「共同実施」という組織が認知されているため、管理職や教職員の悩み事などについて「共同実施で聞いてきて」や「他の学校ではどうしてる？」といった相談を受けることが多い。
地域の課題を解決する共同実施…ではない。リソースマネージャーな立ち位置にはなれていない（特に「人材」本市には、市の補助金で集落支援員として コミュニティスクール推進員 を任用しています）。
- 【教訓】 学校独自の課題について、本校の事務職員だけでなく共同実施としてどう関わっていくかを考えていく必要がある。

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	4	5